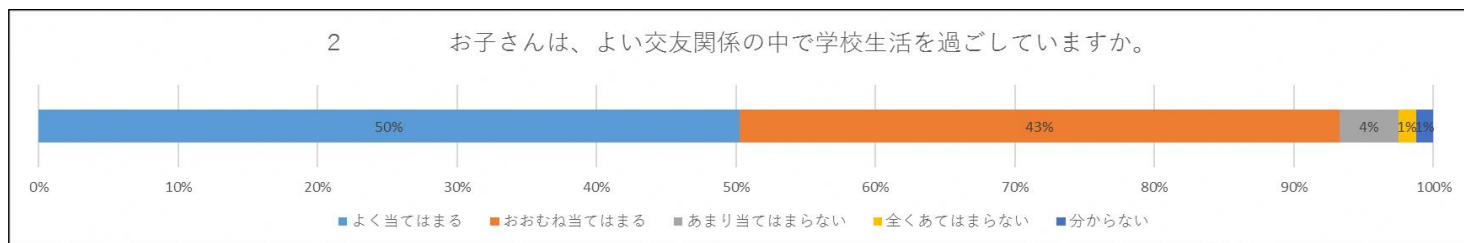
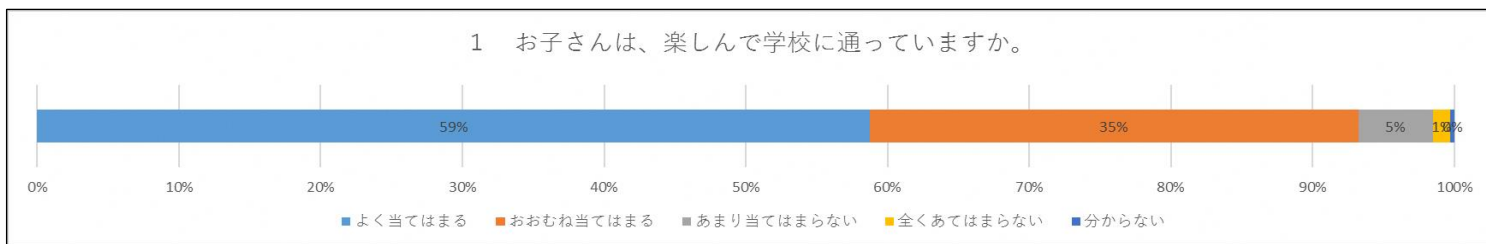


令和3年度「学校教育活動アンケート」の結果について

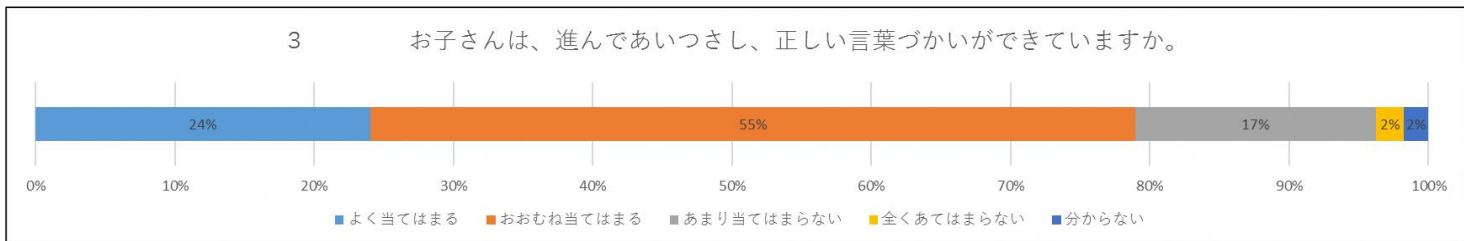
多摩市立南鶴牧小学校
校長 森 信 行

12月に実施しました「学校教育活動アンケート」にご回答いただきありがとうございました。18項目の質問内容のうち、11項目で85%を超える肯定的な評価をいただきました。本校の教育活動が、お子さんの成長に寄与できていることはうれしい限りです。ご意見の中で、個別にお応えできるものについては保護者会やお便り等で回答していきますが、全体に関わる事柄等について、今後の学校の取組をお知らせします。また、コロナ禍の中での取り組みとして、昨年度からWebでの回答を始めました。この取組は次年度も継続して実施します。令和4年度も、南鶴牧小学校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

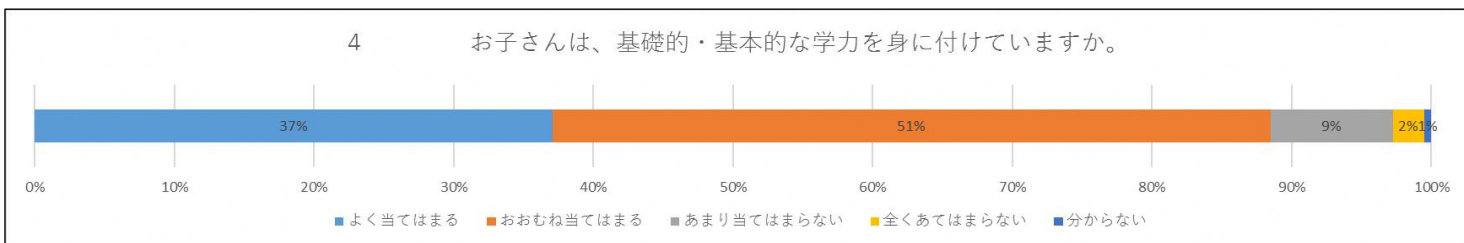
【総回答率 76.8%】



保護者のご意見の中に、いじめを心配している声がありました。学校としてはいじめを容認することなく、しっかりと対応していくことを今後も継続していきます。また、事後の指導だけでなく、未然防止に係る取り組みも継続してやってまいります。

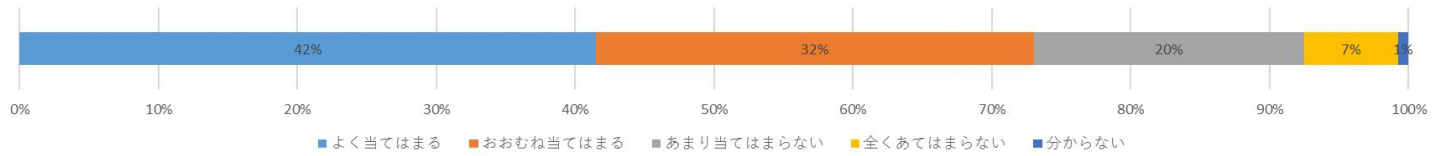


昨年度よりも肯定的意見が約7ポイント上昇しましたが、学校としても十分満足できる状況とは言い切れません。コロナ禍によって、児童による「あいさつ運動」がほとんど実施できませんでした。朝の登校時や、校舎内ですれ違う際は「おはようございます」「こんにちは」と元気なあいさつのできる児童がたくさんいます。ただし、自発的にあいさつのできる児童は多くありません。学校でも引き続き指導していきます。保護者や地域の方々も来校の際は、児童に元気なあいさつを投げかけていただけると幸いです。あいさつというコミュニケーションの大切さを私たち地域の大人が身をもって示していくことも大切なことだと思っています。



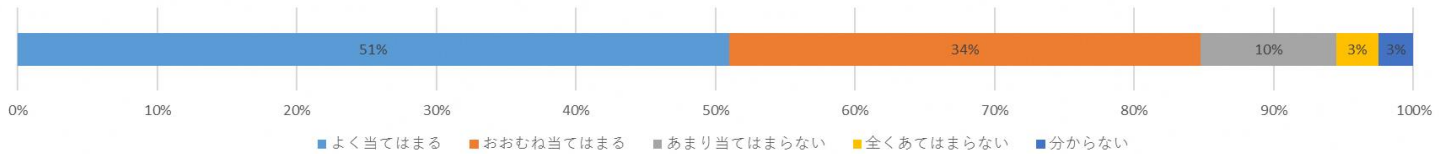
学校生活で一番多くの時間を要している基礎的学力の定着は、保護者（特に低学年児童）の皆様としても一番心配な項目だと思います。いただいたご意見では「知識を応用して他のことを上手に対応する、経験から予想して適切に対応する、などがまだ難しいようです」「授業で習ったことを家庭学習で活かせています」とありました。教員も日々授業改善に取り組んでいますが、授業以外の環境をつくる、という取組として、自主学習やモーニング・プラスを実施しています。次年度も継続して取り組みたいと考えています。

5 お子さんは、学校図書館での本の貸し出しを利用するなどして、読書に親しんでいますか。

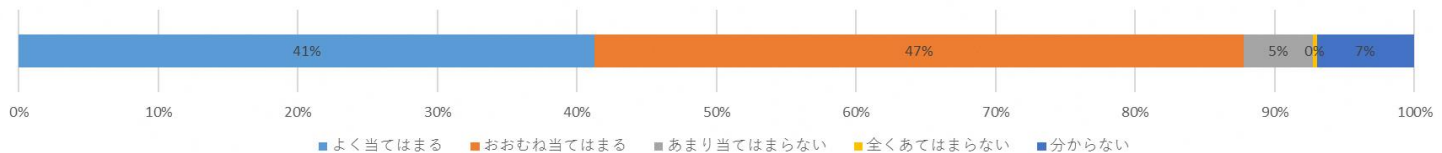


肯定的評価とそうではない評価を対比すると昨年度とほぼ同様の結果となっていますが、「よく当てはまる」は上昇しています。今年度はコロナ禍であっても図書室を利用できない時期を作らなかった。感染状況が思わしくない時期は図書室内の閲覧はできないが、貸出は行い、教室や家庭で読書できるようにしてきました。また、学習への活用にも力を入れ、その時に学習している単元に関連する文献を学校図書館司書と連携して各教室へ置くようにしています。

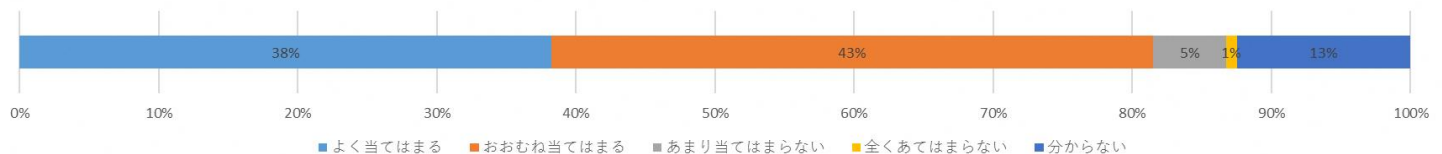
6 お子さんは、運動や芝生校庭での外遊びを進んで楽しんでいますか。



7 教員は、お子さんにとって分かりやすい授業をしていると思いますか。

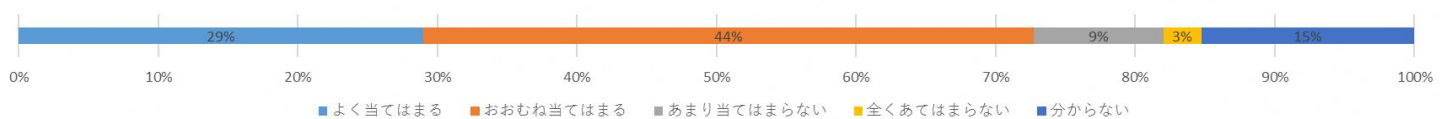


8 道徳科の授業は、お子さんの心の成長に役立っていると思いますか。



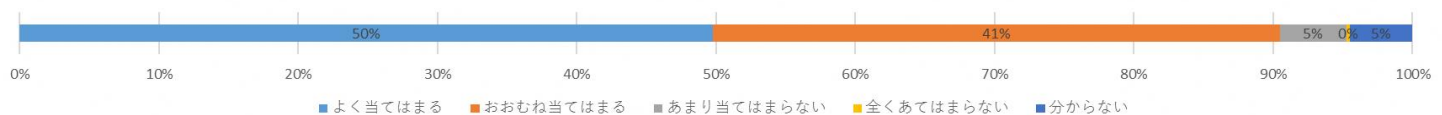
道徳教育の重要性は言うまでもありません。本校では今年度の道徳授業地区公開講座を学校公開という形で予定していましたが、感染症対策として授業公開を急ぎよ中止し、本校ホームページと学校だよりにおいて画像や紙面での公開といたしました。本校では多様性に対する寛容な心を育てたいと考え、年度当初から「思いやり・親切」等の主に人との関わり方に関する価値項目を重点として扱ってまいりました。

9 タブレット型PCの活用により、学力や将来必要とされる資質・能力の育成が推進されていると思いますか。



タブレット端末は今年度から1人1台の活用が始まりました。全学級が各教科で活用しています。ただし、使い方にはまだまだ課題があり、次年度へ向けて検討すべきことがあります。特別な配慮を要する児童にはノートと鉛筆の代わりに活用することで学習がスムーズに進む場合があります。また、今後は書字もタッチペンを使って行うことも必要になるかもしれません。端末を使ったいじめ行為もしっかりと指導していく必要があります。そのためには双方向の通信へどのような制限をかけていくのか、検討していかなければいけません。学習アプリの開発と同様に、活用場面や情報モラルの指導も並行して行っていきたいと考えています。

10 お子さんは、見学・外部の方の出前授業・栽培活動・飼育などの、体験的な学習活動に積極的に取り組んでいると思いますか。



1 1 お子さんは、分からないことを聞いたり、自ら調べたりして、自主的に学習に取り組んでいると思いますか。



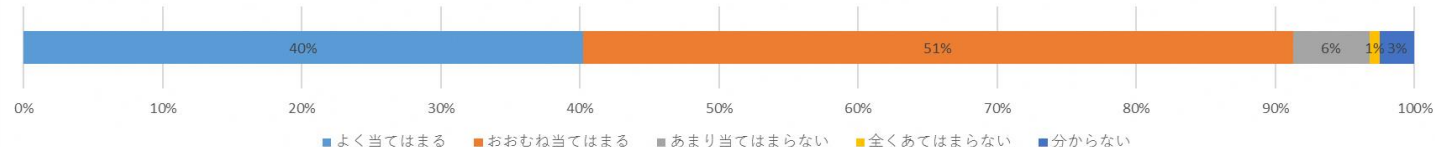
「自主学習に興味あることに自ら迫っていく力になっている」というご意見を多数いただいています。また、「自主学習を苦手としていて、週末の課題がなかなか進まない」というご意見もいただきました。本校では自主学習を通して、子供たちが日常生活の中での課題を見つける力、自分自身の才能を見つける力、解決しようとする姿勢とプロセス等を身に付けてほしいと考え、導入しています。課題設定時点で迷っている場合は教員からのアドバイスもしていきます。何なりとご相談ください。今後も継続していきます。

1 2 学校は、習熟度別指導やピアティーチャー、A L T、外部講師、地域団体、企業等の体験活動を活用して指導方法を工夫・改善していると思いますか。



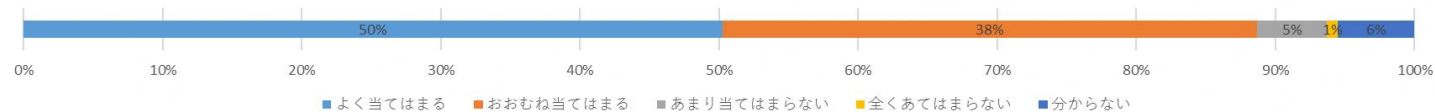
算数に関しては引き続き全学年で習熟度別指導を継続していきます。1年生の実施に関しては児童の実態を考慮しながら開始時期を決めていきます。算数以外の教科・領域等では、外部講師や地域団体、企業等の協力を得ながら学習を進める計画を立てています。専門性の高い方々から学ぶことは児童にとっても貴重な機会だと捉えています。それらの様子については、各学級の週予定表や本校のホームページで可能な範囲の発信をしていきます。

1 3 "あゆみ"(通知表)は、お子さんの学力や生活の様子を正しく伝えていると思いますか。

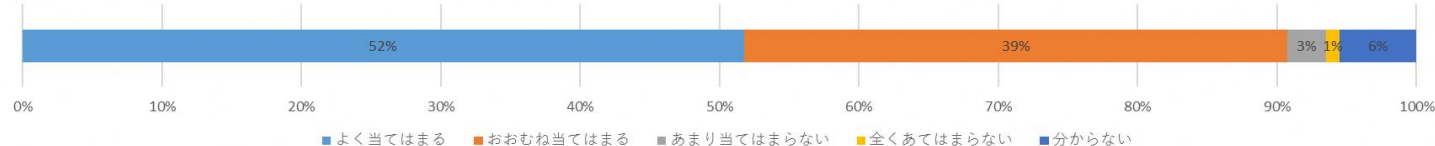


通知表「あゆみ」の教科の欄は、主要な教科を「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に統一しました。学習指導要領の改訂により、育てるべき資質・能力が概ね3つの観点到められたことを受けてです。保護者の皆様からは90%以上の肯定的なご意見をいただいています。一方で「以前と違い分かりにくくなった」というご意見もいただいています。学校としては、各教科で学習した内容に沿って、どのような要素と場面で評価していくのかを保護者会で説明させていただいています。もしも、ご不明な点がありました時はご質問ください。

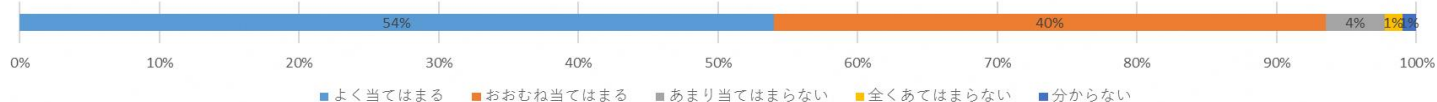
1 4 教職員は、子供の個性を大切に、心身両面に配慮して、協力・連携して子供の指導にあたっていると思いますか。



1 5 教職員は、保護者や地域からの連絡や相談に丁寧に対応していると思いますか。



16 学校は、学校公開や授業参観、保護者会、学校行事、学校ホームページ、おたより、メール配信等を通じて、教育活動についての情報を十分に発信していると思いますか。



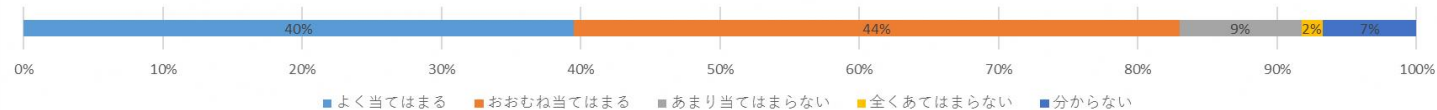
本校では、学級単位の情報発信を週予定表、学校単位の情報発信を従来の学校だよりに加えて、ホームページやメール等のオンラインを使って行っています。ホームページに関しては、児童の活動を紹介することをはじめ、感染対策等の情報発信にも活用しています。おかげさまでたくさんの方々に閲覧していただいています。メールに関しては情報の訂正等が生じることがあり、ご迷惑をおかけしてしまうことがありました。学校の役割が非常に多様となり、発信する情報量が多くなることと並行してこのようなことが起こる場合があります。今後、気を付けてまいります。

17 学校は、地域・保護者と協力しながら、校庭芝生や施設、設備などの環境整備や省エネ・リサイクル、脱プラスチック等のエコ活動に努力していると思いますか。



校庭芝生の維持管理には、地域の方々や保護者の皆様に多くのご協力をいただいています。今年度に関してはコロナ禍のため、「有志」という形で管理作業を行う機会が多くなりましたが、それでもたくさんの方々にご協力をいただき大変感謝しております。このことは常日頃から児童にも伝えていき、たくさんの方々から支えられているという意識の中で学校生活を送れるようにしていきたいと思っております。前問にもつながりますが、学校からの配布物に関して「可能なものはペーパーレス（メールや電子データ等）にしてみても」というご意見をいただきました。ペーパーレス化に関しては、市教委とも連携して検討していきたいと考えています。

18 学校は、「新しい生活様式」に対応した、オンラインを用いた取り組みや、新たな教育活動を行っていると思いますか。



オンライン授業に関しては、1月以降に可能な学年（主に上学年）から取り組んでまいりました。下学年に関しても、学級閉鎖中のリモート朝の会やオンライン上で課題のやり取り等を実施し、学びの継続をしております。様々な事情等でやむを得なく長期の欠席をしなければならない場合は各ご家庭と相談しながら今後も対応していきます。一方で、学校の意義というのは、「どこで学ぶか」「誰と（どんな集団で）学ぶか」ということも非常に重要な事項と考えています。学校という場（校外学習も含む）で活動することを基盤としたカリキュラムが大きな柱であることは今後も変わりません。